

緑生瓦版

2011.09.01

第三十四号

熱中症対策を忘れずに!

今年の夏も暑い日が続き「熱中症」に関するニュースをよく耳にしました。私達のように野外で作業や調査をする者にとっては、本当に気を付けなくてはいけないことだと思います。そのためにも、一人ひとりが正しい知識を身につけて、十分な予防対策をとることが大切です。自分で「おかしい」と思った時には手遅れです。厚生労働省や環境省などからも多くの情報提供されていますし、世間には数多くの予防対策グッズが出回っています。こうしたものを利用することも有効だと思います。暦の上ではもう秋ですが、まだまだ暑い日が続きます。油断は禁物です。よく言われることですが「まめな水分・塩分補給、十分な休憩」こそが、現場で最も大切な「安全」を維持することになるのではないのでしょうか。

調査部
坪山 聡

「生物多様性」への社会的関心も高く、言葉もだいぶ認知されてきてはいますが、明確なものではなく、実際にはまだまだ試行錯誤の状態というのが、正直なところではないでしょうか。まるで真夏に「逃げ水」を捕まえようとしているような、そんな感じです。今回のシンポジウムでは、その「逃げ水」を捕まえるための、考え方や事例（手法）を知ることが出来ました。内容的には難しい部分もありましたが、今後の仕事に生かせればと強く思っています。ここではその概要を報告させていただきます。（調査部 坪山聡）

緑生研究所って、どんな会社…?

～ 都市の生物多様性と
その評価の巻 ～

NPO 法人 野生生物調査協会
第8回シンポジウムに参加して



都市のエコロジカル・ネットワークのための ポテンシャル評価

亀山章(東京農工大学名誉教授)

生物多様性の評価ツールのひとつとなり得る「生物の生息環境図」の考え方の紹介。

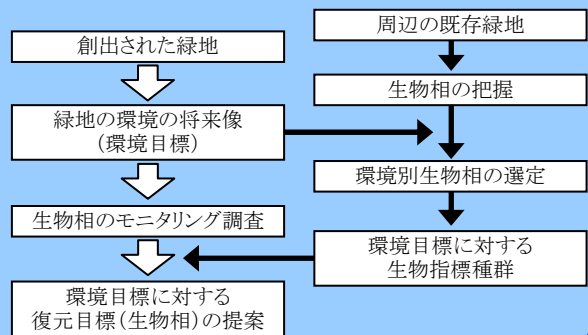
- ・生物の生息環境図の特色
生物の生息環境図は自然環境情報を包括的に収集したものであり、そこには地図化の過程で、いろいろ多様な情報が蓄積されている。
- ・生物の生息環境図の応用
生物の生息環境図はGIS上でデジタル情報として取り扱われる。デジタル情報の図化機能の利点を生かして、いろいろな目的への応用が可能である。生物の出現可能性図はその一つの例であるが、その他、特定種(貴重種等)の分布の可能性の高い生息(生育)環境を推定したり、特定種が移動等で利用する可能性を推定するなど、幅広い応用が考えられる。



日野市を事例とした生物多様性の 評価手法とその応用

井上康平(野生生物調査協会理事)

周辺の既存緑地の生物相を復元モデルとして活用することによって、創出された都市緑地の「生物相の復元目標」を示すことが可能であることの検討事例と手順の紹介。



昭和記念公園における生物多様性の再生 - 30年にわたる試みとその成果 -

井本郁子(地域自然情報ネットワーク副理事長)

「人と自然のための公園づくり」を目標に立川基地跡にゼロから森林や草地、小川、池などの環境を整備再生した事例をもとに、約30年間のモニタリング調査及びその解析の結果から得られた「多様な環境を整備するために必要なこと」の紹介。

- ・生態系の再生には自然の生態系からならうことが必要である。自然な地形、表土の保全、自生種の利用など。
- ・エコロジカルネットワークを地域的にも、公園内でも考慮する。
- ・現況調査、管理方法の検討、管理方法の見直し。(順応的管理を行う)
- ・ボランティア市民との協働で、きめ細かい管理とモニタリングの実施による持続性の確保。

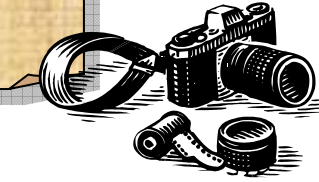
生態種群の生物多様性評価における役割

亀井裕幸(東京都北区)

「生態種群」を用いた群落評価の考え方と手法の紹介。

- ・生態種群とは、ある群落における群落適合度が高い群落構成要素のことで、ここでは特定の群落と結びつきが強い植物種のリストを示している。
- ・自然性の高い群落に結びつく生態種群には高い数値を低い群落には低い数値を与えることで、個別の群落(植分)や抽象的群落(群落単位)の発達段階を評価することができる。
- ・欠落している生態種群構成種を抽出することで、群落の回復(育成)計画指針が導き出せる。
- ・本来の自然植生が極端に少なくなった地域では、隣接する二次林などに存在する自然林構成種群を保全・育成することで、自然植生の回復を図ることができる。

写真だより



ヤンバルクイナ *Gallirallus chinawae*

1981年に新種として発表された鳥類で、国の天然記念物にも指定されています。写真は夜、木の枝に止まって寝ているところを撮影したものです。森に住み、ほとんど飛ぶことが出来ません。残念ながら交通事故やマンゴースの補食などによって、生息数は減少しているようです。

クロイワトカゲモドキ *Goniurosaurus kuroiwae*

沖縄県の天然記念物で、分布する島によって5つの固有亜種に分かれています。それぞれの亜種が特徴的な模様や形態を有しているため、一通りは押さえておきたいところです。地元ではアシハブやジーハブと呼ばれており、意味は「足のあるハブ」だそうです。ちなみに毒はありませんので、ご安心を・・・



アンケートのお願い！

Q. 「緑生瓦版」のなかで取り上げてほしい内容や、ご意見、ご感想などを教えてください。

差し支えなければ、会社名、所属、氏名をお教え下さい。

会社名：

所属：

氏名：

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、アンケートの回答は、緑生研究所（坪山）宛に FAX (042-487-4334) でお願いたします。

編集後記

お読みいただき、ありがとうございます。

第三十五号は十一月一日の発行を予定しています。特集では『戦略的環境アセスメント (SEA)』の概略とそのあり方について、お話しさせていただきます。

未来の出来事と
思っていた月旅行が、
すでに身近で具体的
なものになっていま
す。夢は膨らみます
が、費用はなんと百
億円以上！やはり
現実はまだまだ私
達には厳しいよう
です。今の私達に
出来ることは、十
五夜の月を眺めな
がら、ジョルジュ
・メリエスの映画
「月世界旅行」を
みて、月旅行の準
備を万全にすること
ぐらいでしょうか。
ちなみにこの映画
には有名なワンシ
ーンがあり、皆さ
んも一度は目にし
たことがあるの
ではないでしょうか。

コラム

